

春風秋霜

10月号

令和5年10月20日
島田市教育委員会日より
教育長 山中史章

春風をもって人に接し、秋霜をもって自らを慎む 佐藤一斎

1 良い指導者とは

先日、ベローナアカデミーのアンドレ・ピエトロ・マルコーニ氏（ヘラスベローナアカデミーU12 統括マネージャー）にお会いする機会がありました。新聞にも掲載されましたのでご存じの方がいらっしゃると思いますが、マルコーニ氏は、島田市内の小中学生に対してサッカーの指導をしてくださいました。また、サッカーの指導を行っている指導者に対しても講習会を行っていただきました。

現在島田市においても、中学生の休日における新たな地域クラブ活動化を検討していますので、外部の方にいろいろと教えていただく機会を大事にしていきたいと考えています。マルコーニ氏は、イタリアのサッカーチームで子供たちの指導にもあたっており、選手の良いところを見つけほめることが大事だということをおっしゃっていました。先日、教育委員の皆さんと島田市における部活動の在り方を考えたのですが、今まで中学校において部活動の果たしてきた役割や、中学生にとっての部活動の価値や、部活動を通して育まれる生徒同士や教職員との人間関係の大切さを考えると、どのように休日における地域クラブ活動化を進めていくか、本当に難しいというのが、教育委員の皆さんの思いでした。現在、学校教育課、スポーツ振興課、文化振興課が連携してどのような取り組みができるのかを探っています。また、地域で活躍してくださっているスポーツ系や文化系の団体の皆様とも話し合いをして受け入れ態勢について考えていただいています。子供たちにとって有意義な地域クラブ活動化ができるように検討しているところです。

部活動の地域クラブ活動化を考えるときに、マルコーニ氏が話してくださった「良い指導者」のことも考えていかなければなりません。勝利至上主義にならないような体制も必要ですし、教育的な配慮ができる指導者にお願いしないといけません。

多くの方の知恵を借りる必要がありますので、皆さんご協力をお願いいたします。

2 新庁舎に移動をしました

9月24日(日)に新庁舎の落成式を行いました。くす玉が割られ、テープカットの式典も行われました。また、10月10日(火)には、新庁舎の開庁式が行われました。

旧市役所で勤務していた職員は、10月7日(土)、8日(日)、9日(月)で引っ越しをして、10月10日(火)から新庁舎での勤務が始まりました。今まで、プラザおおるりで勤務していた教育委員会や危機管理課、建設課の職員は、10月14日(土)、15日(日)に引っ越しをして、10月16日(月)から新庁舎での勤務が始まりました。教育委員会は、プラザおおるりの中で分かれて仕事をしていましたが、教育総務課、学校教育課、社会教育課、スポーツ振興課と、新庁舎では1か所にまとまって仕事ができるようになりました。今まで以上に、複数の課が連携して仕事ができるようになりました。新庁舎になって、各課と一緒に相談している姿をよく見ます。

新庁舎の特徴は、基本的に自分の好きな席で仕事ができる「フリーアドレス」という制度を取り入れているところです。オフィスの中で、固定された席を決めないで、ノートパソコンを活用して自分の好きな席で働くことができるのです。しばらくは、固定した席で仕事をして、慣れてきたらフリーアドレスを取り入れるのではないのでしょうか。

教育長室も新しくなり、書棚やファイルを入れるケースも十分な容量を与えていただき、とても仕事がやりやすい環境となりました。窓から見える山並みや街並みを見て、子供たちが、この町を大事に思う気持ちを育てていくことが必要だという思いを強くしました。右の写真は、教育長室から3階の南側フロアを撮影したものです。3階には、教育委員会以外に、財政課・人事課・資産活用課・DX推進課・危機管理課・庁舎建設課・戦略推進課等の課が入っています。



肘かけ椅子

「テレビのない生活」

教育委員 磯貝隆啓

5年ほど前からテレビをほとんど見ない生活をしています。正確に言うと「テレビを意識的に見ない」生活ではなく、ただ単に壊れてしまい「テレビを見ることができなくなった」生活なのですが。最初は困ったなと思い、買い替えようと思いましたが。ニュースが、好きなドラマが、大好きなラグビー中継をみることができないと。今、思うと少し情けない話です。しかし、この事を前任の教育委員北島先生にお話ししたところ「それはよかったですね。読書すればいいじゃないですか。最高の生活が待っていますよ」と言われました。その時はまさか、と思ったものですが、本当でした。北島先生の言われるとおり、毎晩読書の時間ができました。今は朝晩NHK ラジオばかりを聴いています。夜8時から entertainment 番組が始まりますが、NHKには申し訳ないのですが、金曜日の高橋源一郎の「飛ぶ教室」以外は、面白くありません。夜8時でラジオを切り、読書が始まります。私くらいになると生涯あとどれくらい本を読めるかなと計算することがあります。本を読めるのがあと10年間とすると一日2時間であと350冊くらいと計算できます。「うーん、これだけか。」と考えてしまいます。図書館に行くと棚にずらりと何千何万冊もの本が並んでいます。それらの本たちが私を誘ってくるのです。先日、新聞に掲載されていましたが、山本周五郎の本たちは読んでくれ読んでくれと「夜泣き」したそうです。それを聞いた開口健は自宅の本をすべて売り払ったという話も。そういわれてみると我が家の本たちも小さな声で夜泣きするようです。しかし、テレビで盛んに流されるお笑い芸人や人気番組のことはさっぱりわかりません。職場で話題になるときはもっぱら聞き役です。